

## 共通テスト・英語リーディング 対策で大切なこと



福崎伍郎

### ■共通テストでも文法力は必要

共通テストでは、文法問題の出題がなくなるという話を聞いて、「文法の学習をしなくてもよい」と誤解している生徒が少なからずいるようです。しかし、文法の知識とそれを活用する力なしに対処できるほど、共通テストのリーディングは甘いものではありません。

出題される英文を読む場面と問題を解く場面の両方で、文法の知識とその活用力が問われることを、生徒に理解させることが指導上重要です。

まず、英文を読むという場面について見ていきましょう（以降第2回試行調査より）。

- (1) You have received a note from Amelia, an Assistant Language Teacher (ALT) and the club advisor. (第1問 A)
- (2) Our town's three sister cities in Germany, Senegal, and Mexico will each send ten young people between the ages of 15 and 18 to our town next March. (第1問 B)
- (3) One potential obstacle for women to become pilots might be the stereotype that has long existed in many societies: women are not well-suited for this job. (第6問 A)

(1)は CEFR A1 レベル、(2)は A2 レベル、(3)は B1 レベルですが、レベルが上がるにつれて文構造が複雑化しています。特に、(3)の英文は、語彙レベルが高いだけでなく、意味上の主語を伴う不定詞、関係代名詞節、コロンを用いた言い換えが

絡むことで、かなり読みにくくなっています。このような英文を速く正確に読み進む読解力が、特に B1 レベルの問題では求められているのです。

ところで、B1 レベルの出題はリーディング全体でどれくらいの割合を占めるのでしょうか。第2回試行調査では、100点中60点もの配点が B1 レベルの問題に与えられています。本番がこの通りになるかはわかりませんが、準動詞、接続詞、関係詞などの文法知識を読解に活用する力をつけておくことは、平均点（第2回試行調査では51.25点）を超えてある程度の高得点を狙う生徒には必須の条件であると言えるでしょう。

次に、問題を解く場面です。第2回試行調査では、第3問 A で、本文の If it had been sunny, they could have danced outside. という仮定法過去完了の英文が表す状況を選択肢から答えさせる問題（正解は、The dance show was held inside due to poor weather.）が、文法知識の活用力を見る問題として出題されました。A1 レベルということもあり、正答率は87.5%と高く、このレベルの問題なら普段の授業で十分対応可能であると思われます。共通テストでは、高度な文法知識を問う出題はないので、あまり心配する必要はないでしょう。

### ■リーディングスキルと思考力・判断力の指導が大切

共通テストでは、英文の量がセンター試験に比べて大幅に増えるだけでなく、英文のタイプもメモ、ブログ、ポスター、記事、説明文など多様化するのが特徴です。そのため、速読力を鍛えるだ

けでなく、英文のタイプに応じたリーディングスキルを身につけることが有効になります。

必要な情報を素早く探し出すためのスキニング力はもちろん、ディスコース・マーカーに注目して論理展開を読み取り、概要や要点を把握する力が求められます。さらには、複数の文章や資料を比較対照して、共通点や相違点を読み取ることもできなければなりません。

問題を解く上では、事実と意見を見分ける力の他にも、具体的な内容を抽象的なレベルで捉え直す力、文脈から推測して答える力、要約する力など、『思考力』や『判断力』を試す問題に対処できる力をつける必要があります。授業で共通テスト対策をする際には、答え合わせをして事足れりとするのではなく、正解に至るまでの思考のプロセスを生徒に意識させることが重要です。

一例として、第2回試行調査第6問Aから、第4パラグラフを取り上げて、問題を解く上でリーディングスキルと思考力・判断力をどのように用いるかを見てみましょう。

[4] Despite the expectation that male pilots have better flight skills, it may be that male and female pilots just have skills which give them different advantages in the job. On the one hand, male pilots often have an easier time learning how to fly than do female pilots. The controls in a cockpit are often easier to reach or use for a larger person. Men tend to be larger, on average, than women. In fact, females are less likely than men to meet the minimum height requirements that most countries have. On the other hand, as noted by a Japanese female airline captain, female pilots appear to be better at facilitating communication among crew members.

問3 In Paragraph [4], the author most likely mentions a Japanese female airline captain in order to give an example of [37].

- ① a contribution female pilots could make to the workplace
- ② a female pilot who has excellent skills to fly a plane
- ③ a problem in the current system for training airline pilots
- ④ an airline employee who has made rare achievements

まず、設問のリード文に most likely とあるのに注目し、本文の内容から推測して答える『思考力・判断力』を試す問題であることをつかみます。

次に、筆者の主張が male and female pilots just have skills which give them different advantages in the job であり、それに続けて男女パイロットの強みが On the one hand と On the other hand というディスコース・マーカーを使って『対比』されているということをつかみます。

問いにある a Japanese female airline captain は One the other hand 以下に出てくるので、女性の強みである better at facilitating communication among crew members が、該当箇所であると見抜き、それを言い換えた① a contribution female pilots could make to the workplace が正解であると判断します。「乗員間のコミュニケーションをとりやすくする」という具体的な内容が「職場に対する貢献」と抽象的に言い換えられていると判断できるかどうかのポイントです。

\* \* \*

このように、共通テストのリーディングでは、パラグラフリーディングなどの読むためのスキルと、問題を解くための思考力・判断力が組み合わせられて出題されるので、その点を日常の授業にどのように落としこむかの工夫が大切となります。(ふくざき ごろう・代々木ゼミナール教育研究所主幹研究員)